一人は万人のために
万人は一人のために

こ～ぷうえ～ぶ

発　行
岩手県学校生活協同組合
岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-5
☎019(687)2246
http://www.igcoop.or.jp/
発行責任者　砂金　文昭
編　　集　企画部総務課

命や心が大切にされる世の中に

本年もよろしくお願いいたします

理事長　砂金文昭

組合員のみなさま、明けましておめでとうございます。2007年の初春を元気に迎えられたことと思います。心よりお慶び申し上げます。

世界は、果てしない暴力の連鎖と市場経済優先の流れにあって、人間としての命や心が軽んじられる事態が続発しています。わたしたちは、学校生協運動を通じて、信頼と平和そして優しさと人間愛に満ちた取り組みをこの間続けてまいりました。組合員のみなさま方のご協力に大変感謝しております。

教育基本法が改悪され、日本国憲法改憲の動きが国民の気持ちとは相反し、政治の力で進められています。一人ひとりのかけがえのない命や心を大事にするのであれば、到底許しがたいことです。今年は憲法制定61年目の年を迎えました。戦前の政治の反省から生まれた憲法です。政治はこのことを常に肝に銘じていなければならないのです。残念ながら今の政治は、戦前政治の反省の上に成り立っていません。教科書では歴史的事実がゆがめられて記述されていたり、国旗・国歌を教育現場に強制したりする風潮があります。

わたしたち学校生協組合員は、民主教育の実現と子どもたちのゆたかな成長と幸せのために、これからも最善を尽くさなければなりません。くらしの安全とゆたかなくらしを求めて、役職員一同全力を尽くして今年もがんばります。運動をさらに強固なものにするため、組合員のみなさまのいっそうのご協力ならびに利用結集をお願いするものです。

本年もよろしくお願いいたします。

守りたい、子どもの命…子どもの未来

ユニセフ募金にご協力をお願いします

2006年度 ユニセフ一般募金額
（1/15現在）

1,700,309円

●518校／教職員…7,851名、児童生徒会…3,402名のご協力をいただいています。
●募金は現在も受付中です。

日本ユニセフ協会の会員になりませんか

「日本ユニセフ協会」は日本でユニセフ活動の協力を広げる組織です。会員となり支援しませんか。

会費は日本ユニセフ協会の広報や募金活動、開発教育、政策提言といった活動費用として使われています。

詳しい資料をご希望の方は2面目のメッセージステージに記入してご提出下さい。

ユニセフに関するお問い合せは
総務課 フリーコール 0120-112246

あなたの思いを世界の子どもたちに届けます

ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金 2006 12/17(日)

ハンド・イン・ハンド募金とは、「手と手を結んで支援の輪を広げる」ことを意味し、全国のユニセフの県支部が毎年12月に実施しています。寄せられた募金は、支援が必要な世界の子どもたちの予防接種などに使われます。

岩手県支部では東和中学校・南城中学校・花巻北中学校・松園中学校・盛岡女子高校・河南中学校・北陵中学校、延べ168名が参加しました。

学校生協はイオン盛岡ショッピングセンターで実施。土淵中学校と盛岡市立高校の生徒のみなさんを含めた18名がボランティア参加し、元気な声で募金を呼びかけました。

ユニセフ チャリティーコンサート 2006 12/9(土)

今年で3年目を迎えたユニセフ岩手県支部主催「ユニセフチャリティーコンサート」が12月9日、盛岡市永井都南文化会館キャラホールで開かれました。会場には約550名が訪れました。チケット代金の50%と会場で寄せられた募金はユニセフを通じて世界の子どもたちに使われます。

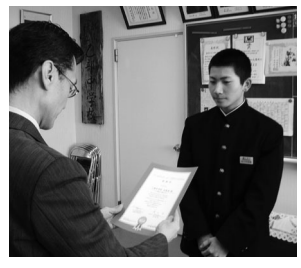
滝沢村立姥屋敷中学校全校生徒による▼ハンドベルで開幕。

▲ピアニストシンガー・ニンファさんは子どもの頃ユニセフのお世話になりました。「音楽を通して恩返しをしたい」と話していました。

◀参加者全員がステージに上がり「Oh happy day」を合唱。

トピックス

生徒会で取り組みました 乙部中学校ユニセフ募金贈呈



生徒会が中心となり、昨年は「パキスタン地震緊急募金」に取り組み、2年連続全校生徒でユニセフ募金運動を実施、募金総額は12,355円となりました。「すべての生徒が世界の子ども達の現状を知っているわけではないので、募金活動を通してみんなで理解していかなくてはいけない」と生徒会長の佐々木君は話していました。

世界に一つだけのクリスマスケーキ 手作りケーキ教室開催

12月2日、ホテル森の風鶯宿で第8回手作りケーキ教室が開催され、組合員の家族・友人など総勢51名が16組に分かれシェフの本格的な指導を受けました。家族連れのグループでは子どもたちも製作に加わり、にぎやかな中にも真剣な表情が印象的でした。参加者からは「ぜひ来年も開催してほしい」という声も多く、楽しい1日となりました。

食・いのち・農林漁業を考える 第十一回産直運動推進大会開催

11月29日、岩手県民会館中ホールで行われ約351人が参加しました。全体会は茨城大学農学部中島紀一教授による「健康・食・農林漁業がばらばらにされてしまった現在、地産地消が大切。地域密着型農業、国民皆農の時代へ!」といった講演、午後からは分科会ごとにテーマを設け交流を深めました。

気を引き締めて！ 九戸支所交通安全学習会開催

11月14日九戸支所の独自学習会として開催されました。久慈警察署の方から、今問題になっている飲酒運転に関するビデオを使っての講話、損害調査員の方から事故が起た場合についての講話をいただきました。この学習を、職場での交通安全に生かしていけたらと思います。